

平成19年度事業計画書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年度 事業の重点目標

指定管理者として、より一層のお客様サービスの向上と施設運営の効率化を図り、事業の安定化と新分野事業への取組みを進める。
また、それにより各施設の管理・運営体制を確立し、引き続き「自立する財団」を目指す。

I. お客様への快適なスポーツ環境の提供

1. お客様の安全・衛生の確保を徹底するため、救護救急及び防災などの各種研修・訓練により職員の資質向上を図り、必要とする資格の取得を推進する。
2. 利用するお客様が、より高い満足度を得られる各種サービスの拡充とホスピタリティを提供するため、接遇教育等の徹底を図る。
3. お客様の声を施設の運営に積極的に活かすため、内・外部のモニタリングシステムを構築する。

II. 財団スポーツ振興戦略等に基づく自主事業の拡充

1. スポーツ活動の継続化・習慣化を促進するため、通年スクール、ナイトリーグ戦等のクラブサービスを拡充する。また、冬季遊休スペースを有効活用し、ウインタースポーツ・レクリエーション事業の充実を図る。(雪合戦、そり遊びなど)
2. 大勢の市民が参加できる新しい大型イベントについて企画・検討を行う。
3. 生活習慣病予防、介護予防に関する事業や子供の体力向上に関する事業など、ライフステージに応じた新たなプログラムの研究開発と事業拡大を図る。
4. 教室事業等の更なる充実やスポーツ施設の快適な利用環境の提供を図るため、高等教育機関や専門機関等と連携し、スポーツ指導者・スポーツ施設運営者等の育成事業を実施する。
5. 地域の健康・スポーツ支援事業や屋外系事業などのプログラム開発と提供を行い、地域の人たちの健康・スポーツ活動の支援に努める。(どこでもスポーツ隊、軽登山自然散策など)

III. 管理・運営体制の強化

1. 職員のマネジメント・プロデュース能力を向上させるため、経営管理講習・施設管理技術講習などを行う。
2. 公益法人としての社会的責任を果たすために、法令順守の観点から、個人情報保護、情報公開、人権問題など様々な知識の修得に努める。
3. 職場内の研修(OJT)やミーティングをより活性化させ、管理体制の充実を図る。
4. 各施設への権限委譲とIT化を推進し、事務の更なる簡素・効率・迅速化を図る。
5. 財団統合による効果を最大限に発揮するため、新たな職制度や組織・機構改革の検討及び新たな事業展開への取組みを進める。

平成19年度 事業実施計画

1. 地域スポーツ普及振興事業（講習会、教室等）

寄附行為第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<体育施設事業等>

各区体育館、温水プールにおいて市民を対象とした大会、講習会等を開催し、技術の向上を目的とした事業や文化活動を含めた事業及びスポーツに対しての動機付けとなる体験教室等を実施する。

(1) 大会

北区卓球大会、厚別区ジュニアバドミントン大会、白石区ミニバレー大会等

40 大会

(2) 講習会

ア. 体育館

インドアゴルフスクール、エアロビクス、リズム体操、ヨガ、バドミントン、太極拳、テニス、フォークダンス、バトントワリング、卓球、演歌体操等

2,646 講習会

イ. プール

水泳教室(成人・シルバー・少年少女・幼児・4歳児・親子)、アクアビクス、おはようスイミング、シュノーリング、水中ウォーキング、水中エクササイズ等

3,066 講習会

ウ. スケート場、屋外施設

少年少女アイスホッケー、フィギュア、アイスダンス、カーリング体験、少年少女野球、アーチェリー、ノルディックウォーキング、クロスカントリースキー等

128 講習会

<通年型スクール事業>

利用者の拡大と顧客化を目指し、付加価値を付けた通年型スクール事業。

幼児運動くらぶ、少年少女バドミントンクラブ、ジュニアテニスクラブ、ジュニア新体操クラブ、太極拳クラブ、レディーステニスクラブ、8人制卓球クラブ等

125 講習会

<スポーツナイトリーグ>

区体育館閉館後の時間帯を利用し、スポーツ愛好者へリーグ形式での試合開催することで、日頃の練習の成果を発揮する機会を増やし、競技利用者間の交流を目的にスポーツナイトリーグを実施する。

※フットサル、バレーボール等

＜施設間合同事業＞

施設利用者間の親睦と交流を図り、更なるスポーツ意欲を高めるため、複数施設が合同で事業を企画し、各区対抗のスポーツ大会などを実施する。

※スイムフェスタ、水泳競技会兼泳力検定会、朝野球大会、テニストーナメント大会等

＜学校体育施設利用事業＞

学校開放施設を利用して、地域に密着した事業を積極的に展開する。

少年少女テニス教室、ジュニアバドミントン教室、苦手克服体育教室、4・5・6歳体操教室、体操・球技チャレンジ教室、ヨガ教室、護身術講習会等

75 講習会

＜子ども体力向上事業＞

家庭等でできる楽しい遊びをプログラムに取り込み、運動習慣を身につけることにより、体力向上を目指すとともに、コーディネーション能力・コミュニケーション能力の醸成を図る。

※「げんきキッズ教室」、運動プログラムの作成、指導者養成、運動能力測定

＜出張事業及び協働事業＞

地域スポーツの活性化や市民の日常スポーツ活動の支援を目的とした、出張講習会、指導者派遣、地域事業の企画請負及び用具レンタル等の事業を行う。

また、新たな形態の事業展開をすすめるため、他都市や他団体との協働事業について検討する。

※「どこでもスポーツ隊」、ニュースポーツ用具レンタル

＜屋外事業＞

既存の屋内スポーツ施設を使用せず、四季折々の自然環境を活かした健康づくりを目的とした屋外事業を実施する。

※ 登山、自然散策、ウォーキング、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、歩くスキー・スノーシュー他

＜ウィンタースポーツ・レクリエーション事業＞

地域団体等が開催する冬季スポーツ大会の支援や子供を対象に雪合戦、そり遊び及びイグルー作り等の外遊びの楽しさを体験させる事業を実施するなど、ウィンタースポーツの普及振興を行い、季節を問わず継続的にスポーツに親しめる環境づくりを行う。

※歩くスキーコース、雪合戦コート開設、冬季の外遊びメニューの開発・検討とモデル事業の企画

＜スポーツ施設における管理運営者およびスポーツ指導者育成事業＞

(財)日本体育施設協会との共催により「体育施設運営士養成講習会」を開催し、道内外のスポーツ施設における管理運営者を育成すると共に、大学機関との連携により公開講座を開催する。

また、地域スポーツ指導者を対象とした、ソーシャルワークやグループワーク等のスキルアップを目的とした指導者育成講習会を開催する。

※生涯スポーツ指導者育成講習会、水中運動指導者セミナー

＜社会貢献事業＞

地域の安全・安心の確保のために行う救急救命講習を実施し、ボランティア活動への人的支援など、地域社会への貢献事業を実施する。

※海浜清掃、交通安全運動、清掃登山、インターンシップ、社会体験事業

＜小規模イベント事業＞

(1) 第3回花・水・木ウォーク(平成19年6月24日)

健康志向の高揚を受け、年齢等を問わず、誰でも気軽に参加できるウォーキング大会を実施。(白石から北広島市間のサイクリングロードにおいてウォーキング大会を実施)

(2) 第14回北海道155ミニバレー大会(平成20年1月下旬)

生涯スポーツとして、技を競いあうとともに心の交流を深め、健康で明るく豊かな暮らしに寄与することを目的に実施する。

※南区体育館の共催事業として実施(参加150チーム、800人を予定)。

(3) 第7回道新杯小学生雪合戦大会(平成20年3月上旬)

雪合戦を通して健全な小学生の育成・交流を図り、冬季における屋外スポーツの普及振興を目的に実施する。

(4) 100Kウォーク距離認定

年間を通したウォーキング系事業を啓発するため距離認定を実施する。

※認定大会「みずウォーク石狩川大会」「花・水・木ウォーク」「北海道を歩こう」「札幌国際スキーマラソン大会」「宮様スキー・パレード」

(収支見込)

収入予定 492,486,000 円

所要経費 274,571,000 円

＜大規模イベント事業＞

(1) 第32回札幌マラソン大会(平成19年10月7日)

真駒内屋外競技場を発着点として、市内中心部折り返しコースのハーフマラソンと10kmを実施する。また、真駒内公園内で、一般5km(オープン)・中学生・小学生・ファンペア・車イス種目を実施する。(参加者10,000人を予定)

(収支見込)

収入予定 56,200,000 円

所要経費 56,200,000 円

(2) 第28回札幌国際スキーマラソン大会(平成20年2月10日)

札幌ドームを会場とし、旧西岡オリンピック記念距離競技場を含む周辺にて、スキーマラソン50km、スキーマラソン 25km、歩くスキー10km、5km、3 kmを実施する。(参加者3,000人を予定)

(収支見込)

収入予定 33,039,000 円

所要経費 33,039,000 円

<協力事業>

(1) 第48回札幌市民体育大会総合開会式(平成19年5月20日)

※協力施設:コミュニティドーム

(2) 第15回サッポロペンタスロン屋内水泳記録会を水泳競技会兼泳力検定会(自主事業)に併せて実施(平成19年11月上旬)

2. 健康・スポーツ情報提供事業

寄附行為第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) スポーツ情報誌の発行

スポーツ情報を提供するため、スポーツライフ応援マガジン「スポーツライフ(sports life)」を年4回 各10,000部を発行する。

(2) 地域スポーツ情報の収集と提供

各地域におけるスポーツ・レクリエーションに関する総合的なスポーツ情報の調査・提供を行う。(地域スポーツ施設ガイドの作成、地域サークルガイドの作成、地域スポーツマップの作成)

(3) 心血管疾患患者を対象とした包括的フィットネスプログラム(CFP)事業

症状が無いまたは安定している慢性期心臓病患者を医療機関から受け入れ、運動療法を中心とした包括的リハビリテーションを行い、運動耐容能の改善、QOLの向上を図ることにより疾病の再発防止を目的とする。

(4) メタボリックモデル事業における追跡調査事業

平成18年度に実施した「メタボリックモデル事業」参加者を対象に3ヵ月後に各種健診をまた6ヵ月後には質問紙法により追跡調査を行い、事業効果の検証を行う。

(収支見込)

収入予定 1,981,000 円

所要経費 16,369,000 円

3. 健康・体力づくり相談事業

寄附行為第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 運動教室並びにヘルシーライフ教室

健康づくりの実践的な運動普及のため、太極拳やステップエクササイズなど専門講師陣による運動教室の開催をする。また生活習慣病の危険因子となる糖尿病などの病態を持つ人を対

象に健康状態などをチェックし、運動実践や日常生活における食事などの調査、指導を行い10 週後に効果を判定し、今後の生活習慣の改善に役立てていただくためのヘルシーライフ教室を開催する。

(2) 事業所健康診断事業

市内中小企業を対象に労働安全衛生法に基づく定期健康診断などを実施する。

(3) 高齢者筋力トレーニング事業

これまで実施してきた「高齢者運動プログラム推進事業」などの修了者に対し、体力の維持、また介護予防の更なる推進のために集団的な運動指導を実施する教室を開催する。

(4) 運動指導員派遣事業

各区保健センターなどが主催する健康づくり推進地区事業、リーダー養成研修などに運動指導員が出向き、運動の実践指導を行う。

(収支見込)

収入予定 45, 798, 000 円

所要経費 31, 178, 000 円

4. 指定管理事業

寄附行為第4条第5号に掲げる事業は、次の施設を対象に行う。

<体育施設管理運営受託事業>

ア.北 区 体 育 館
イ.東 区 体 育 館
ウ.白 石 区 体 育 館
エ.厚 別 区 体 育 館
オ.豊 平 区 体 育 館
カ.南 区 体 育 館
キ.西 区 体 育 館・温 水 プール
ク.手 稲 区 体 育 館
ケ.清 田 区 体 育 館・温 水 プール
コ.厚 別 温 水 プール
サ.豊 平 公 園 温 水 プール
シ.平 岸 プール
ス.白 石 温 水 プール

セ.手 稲 曙 温 水 プール
ソ.東 温 水 プール
タ.中 央 体 育 館
チ.美 香 保 体 育 館
ツ.月 寒 体 育 館
テ.円 山 総 合 運 動 場
ト.コ ミ ュ ニ テ ィ ドーム
ナ.星 置 ス ケ ー ト 場
ニ.宮 の 沢 屋 内 競 技 場
ヌ.麻 生 球 場
ネ.白 旗 山 競 技 場
ノ.中 島 体 育 セ ン ター
ハ.藤 野 野 外 ス ポー ツ 交 流 施 設

<健康増進施設管理受託事業>

ア.中央健康づくりセンター
イ.東健康づくりセンター

ウ.西健康づくりセンター

(収支見込)

収入予定 2, 641, 549, 000 円

所要経費 2, 451, 297, 000 円

5. 学校開放事業

寄附行為第4条第6号に掲げる事業は、次のとおり開放する。

<学校体育施設開放事業>

- | | | | |
|-------------------|---|------|------------------|
| ア. 体育館開放～288校 | } | 小学校 | 196校(内自主管理校111校) |
| | | 中学校 | 91校 |
| | | 高校 | 1校(内自主管理校1校) |
| イ. グラウンド開放～98校 | } | 小学校 | 44校(内自主管理校2校) |
| | | 中学校 | 54校(内自主管理校1校) |
| ウ. プール開放～204校 | | [小学校 | 204校] |
| エ. 格技室開放～14校 | | [中学校 | 14校] |
| オ. 文化活動練習会場開放～16校 | | [小学校 | 16校] |

※グラウンド開放の東札幌小は早朝が自主管理校、夜間開放はセンター管理校です。

(収支見込)

収入予定 595,584,000円

所要経費 595,584,000円

6. 健康・スポーツ行事受託事業

寄附行為第4条第6号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1) 少年少女水泳教室

7月下旬から8月上旬にかけて、市内20の小学校プールを会場として、泳げない小学生(3～6年生)を対象に水泳教室を開催(全8日間)。

(2) 第30回北海道を歩こう(平成19年9月2日)

真駒内緑小学校から支笏湖(ポロピナイ)までの33kmを完歩。健康に対する意識の高揚と体力の維持増進を目的に開催する。

(3) 歩くスキー普及事業

歩くスキーの普及・振興を図るため、白旗山競技場、中島公園、真駒内桜山にそれぞれ歩くスキー常設コースを設置し、中島公園内に歩くスキー無料貸出所を開設(平成19年12月中旬から平成20年3月中旬)。

(4) 女性のフレッシュ健診事業

18歳から39歳までの受診機会のない女性を対象に生活習慣病予防のための健康診断と骨粗しょう症検診を実施する。

(5) 国保ヘルスアップ事業

生活習慣病予備軍である対象者に集団及び個別により保健師、管理栄養士などの専門職による生活指導や栄養指導を行い、6ヶ月間の日常生活上における生活のリズムや活動量の変化のデータを取得し、生活習慣の改善に役立ててもらい「しっかりコース」「げんきにコース」を行い(保健指導業務)、また更に「しっかりコース」においては運動習慣の定着を図ることを目的として運動指導の実践を行う。(運動指導業務)

(6) 地域支援事業(高齢者筋力トレーニング事業)

要支援や要介護状態になる前からの介護予防の推進のための事業として自治体の実施主体として行う「地域支援事業」のうち、運動器の機能が低下している恐れ(または低下している)のある高齢者に対し、その予防や向上及び転倒骨折の防止などを図る観点から筋力トレーニングマシンを用いた運動などを行う。

(7) ひざイタ予防モデル事業

独立行政法人産業技術総合研究所から研究委託を受け、生活習慣病及び骨関節疾患予防的観点から運動介入プログラムを中高年者を対象に実施し、身体運動機能測定を行い、その効果を検証する

(8) 介護予防従事者研修事業

介護予防サービスメニューである「運動器の機能向上」の実践研修を北海道デイサービス協議会から委託要請を受け、道内通所介護事業所などの職員に対し行い、事業者が的確なサービス提供を行えるよう指導を行う。

(収支見込)

| | |
|------|----------------|
| 収入予定 | 41, 892, 000 円 |
| 所要経費 | 28, 993, 000 円 |

7. 協力支援事業

寄附行為第4条第7号に掲げる事業は、次の計画により行う。

- (1) 札幌市出資団体改革プランを受け、財団法人札幌市体育協会事務局に当財団の職員を出向させることにより、事務局機能の強化を図る。
- (2) 株式会社北海道フットボールクラブ(コンサドーレ札幌)とスポンサー契約を締結することにより、スポンサー権益のメリットを広く市民への還元事業等に活用すると共に、指定管理者提案要件でもある「プロスポーツ団体との連携」も視野に入れる。
- (3) 北海道マラソン大会事務局に職員を出向し、マラソン大会運営業務のスキルアップと各種団体との連携を図る。
- (4) (財)日本体育施設協会の専門委員(指定管理者制度担当)の委嘱を受け、北海道におけるスポーツ振興団体等のサポートを行う。

(収支見込)

| | |
|------|----------------|
| 収入予定 | 10, 000, 000 円 |
| 所要経費 | 18, 047, 000 円 |

8. 物品販売・貸付業及び飲食店業

寄附行為第4条第7号に掲げる事業は、次の計画により行う。

<物品販売事業>

(1) 売店営業施設

西区体育館・温水プール、厚別温水プール、白石温水プール、手稲曙温水プール
東温水プール、コミュニティドーム

(2) 自動販売機設置施設

北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、南区体育館
西区体育館・温水プール、手稲区体育館、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール
豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール
美香保体育館、コミュニティドーム、星置スケート場、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場、
中島体育センター

<物品貸付事業>

(1) コインロッカー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、コミュニティド
ーム、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場、中島体育センター

(2) ドライヤー設置施設

西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水
プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール

(3) パークゴルフ用具貸出施設

コミュニティドーム

<飲食店業>

(1) レストラン営業施設

コミュニティドーム

(収支見込)

収入予定 116,015,000 円

所要経費 100,340,000 円